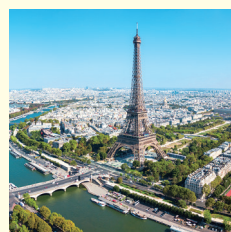




学校法人 香川栄養学園



GO!! GLOBAL

2024



国際交流のご案内

世界にふれて“自分”を再認識してみましょう

大学生の間は、自分にとっての社会が一気に広がる時期であるとともに、仕事に就いた後と違って、比較的自由がある時期でもあります。だからこそ、世界にふれてみましょう。

今やbentoやOnigiri、tofu、misoは英語として通用するようになってきました。このように、和食は急速に海外で受け入れられています。また、日本の食品会社も、東南アジアや欧米で海外進出を果たしています。そのことからしても、「海外で働きたい」「国際的な仕事をしたい」という希望は非現実的ではなくなってきました。しかし、そこまで考えていない人にとっても、国際感覚は重要です。

もしかすると、「国際化なんて、自分には関係ない」と考える人が多いかもしれません。しかし、「国際化」と言っても、「国外で働く」とか「常に英語で会話する仕事に就く」などといったことだけではありません。まずは、世界を身近に感じたり、他国の様々な考え方を実感したりすることが重要です。

TVやインターネットなどで「日本（人）の素晴らしさ」を目（耳）にしたこともあることと思います。しかし、日本の中にいる限り、それは「当たり前」のことで、実感がわきません。海外に出ると、価値観や生活習慣、生活環境、時間の感覚などが全く異なることに気づきます。その結果、「やはり日本が一番」となるとしても、その本当の価値をより深く理解することができます。このような「気づき」は、国際的な仕事に就くかどうかにかかわらず重要なことです。

夏目漱石は、約2年間のロンドン留学を悶々と過ごしましたが、それがあったからこそ、「自分とは何か?」「日本の文学とは何か?」を自問自答し、その後の創作活動につながっていきました。自分も、大学を卒業するまでは国際交流にほとんど興味はありませんでした。しかし、24歳の時、金管アンサンブルの演奏旅行でヨーロッパに行ったのをきっかけに、海外に出かけたり他国の研究者とつながったりする機会が、少しずつ、しかし着実に増えてきました。何より、多様な考え方を理解し受け入れることができるようになってきました。

まずは、日本を出て、多様な文化を実感しましょう。その経験は、どのような仕事・生活になるとしても、必ずや大きな糧となるはずです。国際交流センターは、そのきっかけづくりを支援します。

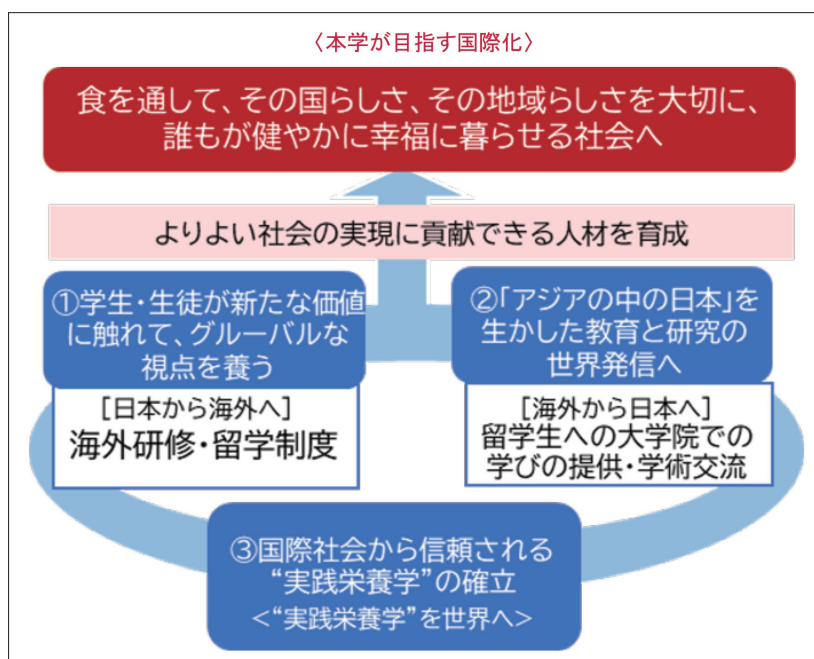


国際交流センター長
大学院研究科長 田中茂穂

国際交流の理念 ～実践栄養学を世界へ～

本学ではいつの時代にあっても、日々の暮らしの中で栄養学と向き合うことで、科学に裏打ちされ、人々が実践しやすい食事法の考案、普及に取り組んできました。それが本学の学びのコアにある“実践栄養学”です。

世界トップクラスの健康水準を誇る日本。戦中・戦後の栄養改善の歩みとともに発展してきた“実践栄養学”を日本から広く世界に示すこと、これまで本学が長年担ってきた実践栄養学をベースにした「人材育成」の役割を世界に広げ、世界の食と健康に向き合う人材を育成していくことが、本学の目指していく国際化です。



国際交流プログラムカレンダー

海外研修や国際交流関係のイベントの一覧です。

自分の関心がある研修やイベントの日程を事前に把握し、積極的に情報収集しましょう。

2024年度 国際交流カレンダー Calendar

4 April

- ・カーティン大学公衆衛生学部賞授与
- ・留学生交流会(ピクニック)

5 May

- ・第1回カフェ・グローバル
- ・台湾・料理文化研修募集説明会(大学・短大・専門学校)

6 June

- ・国際交流報告会

7 July

- ・ソウル国立大学交換留学生募集開始(春入学)

8 August

- ・ソウル国立大学交換留学生学内応募締切(春入学)
- ・台湾・料理文化研修実施

9 September

- ・第2回カフェ・グローバル

10 October

- ・オーストラリア栄養学・英語研修募集説明会(大学・短大)
- ・ヨーロッパ研修募集説明会(大学・短大・専門学校)
- ・海外スポーツ栄養体験実習実施(栄養学部/科学専攻)

11 November

- ・荒井慶子グローバル人材育成奨学金募集開始

12 December

- ・荒井慶子グローバル人材育成奨学金学生選考
- ・第3回カフェ・グローバル/留学生クリスマス会

1 January

- ・ソウル国立大学交換留学生募集開始(秋入学)
- ・荒井慶子グローバル人材育成奨学金学生決定

2 February

- ・ソウル国立大学交換留学生学内実施応募締切(秋入学)
- ・国際食活動フィールドワーク実習実施(栄養学部/食文化)

3 March

- ・オーストラリア栄養学・英語研修実施
- ・留学生交流会(お別れ会)

※上記のスケジュールは都合により変更になる場合があります。
※本年度の海外研修は新型コロナウイルス感染状況により、中止になる場合があります。
※カフェ・グローバルについてはP10をご参照下さい。

提携校の紹介

アイルランド



- ① ダブリンシティ大学
Dublin City University

韓国



- ② ソウル国立大学校生活科学大学
Seoul National University

ベトナム



- ③ ハノイ医科大学
Hanoi Medical University

タイ



- ④ マヒドン大学
Mahidol University

マレーシア

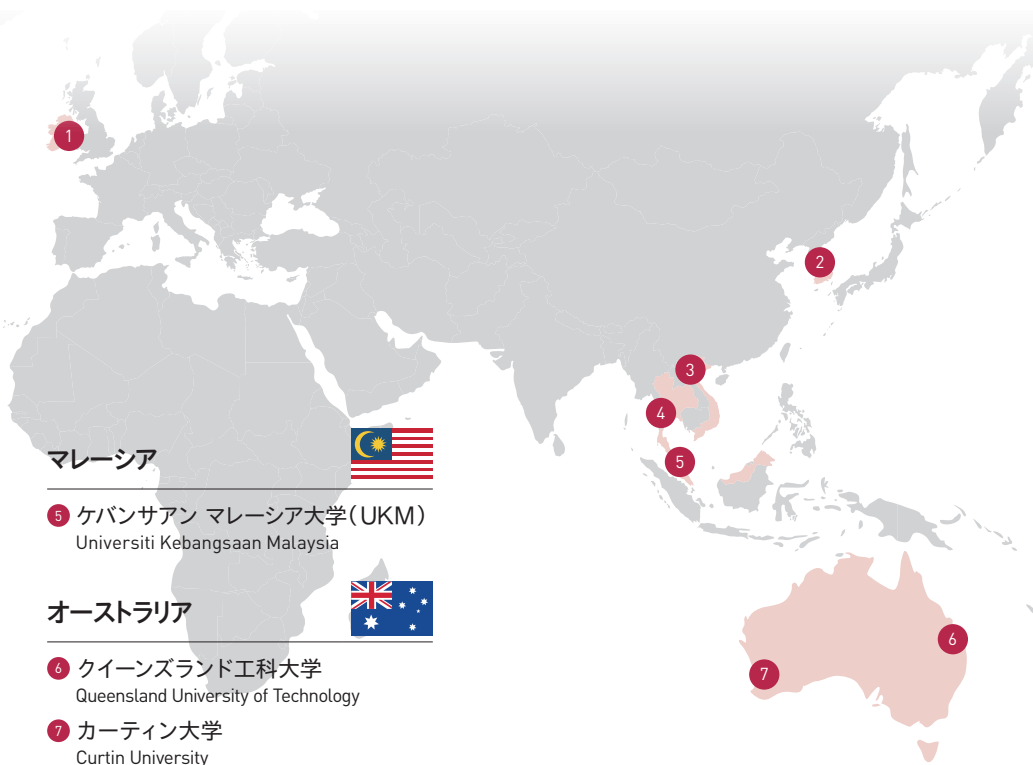


- ⑤ ケバンサアン マレーシア大学(UKM)
Universiti Kebangsaan Malaysia

オーストラリア



- ⑥ クイーンズランド工科大学
Queensland University of Technology
- ⑦ カーティン大学
Curtin University



研修プログラムの紹介

研修プログラム一覧

研修名	オーストラリア 栄養学・英語研修	ヨーロッパ 料理研修・洋菓子研修	国際食活動 フィールドワーク実習	海外スポーツ 栄養体験実習
渡航先	オーストラリア (パース)	フランス	ベトナム (ホーチミン)	オーストラリア (ブリスベン)
研修先/ 留学先	カーティン大学	現地料理・製菓専門学校	現地企業・ 料理学校等	クイーンズランド工科大学
研修期間	10日間程度	1週間程度	1週間程度	10日間
費用の目安	60万円程度	55万円程度	25万円程度	55万円程度
語学力	英語が できれば尚良し	条件なし		
主な対象	栄養学部及び 短期大学部の1・2年生	栄養学部 短期大学部 専門学校	食文化栄養学科 3年生（授業）	保健栄養学科 栄養科学専攻等 3年生（授業）
主催	国際交流センター		食文化栄養学科	栄養科学専攻

*新型コロナウイルス感染拡大によっては研修が中止になる場合があります。詳しくは国際交流課にお問い合わせ下さい。

*為替レート等により金額が異なる場合があります。上記費用の目安は過去実施例になります。

*ヨーロッパ料理研修・洋菓子研修はどちらかの実施となります。

国際交流センター主催の研修プログラムについて

ヨーロッパ料理・洋菓子研修

*料理研修と洋菓子研修は毎年交互に開催します。2024年度の実施がどちらになるかは4/1の国際交流のInstagramでお知らせします。

人	15名以上	期	2025年3月1日～3月7日	言	フランス語ができれば尚良し	募	2024年10月	費	約55万円	単	2単位
滞	ホテル										
概	料理研修と洋菓子研修を交互に毎年開催します。フランスのパリを中心に、マーケットの食材見学、パン菓子工房等店舗の見学をおこない、また現地専門学校で本場のフランス料理・洋菓子の実習も行います。フランス料理・文化を体験する1週間です。										

スケジュール *以下はあくまでも一例です。実際の飛行機、旅程は変更になることがあります。

2025年 3月1日(土)	成田空港発	空路（直行便）パリへ （所要時間12時間／日本との時差 -8時間） 現地到着後、ホテルへ移動
研修前半	パリ	パン工房・菓子工房等の見学① マーケット視察 三ツ星レストランでの食事
研修後半		現地専門学校の見学と実習訓練 オプションツアーへの参加
3月6日(木)		パン工房・菓子工房等の見学② 自由行動 夕刻：ホテルより集合後、空港へ 空路 帰国へ
3月7日(金)	成田空港着	着後、解散

参加研修： オーストラリア栄養学・英語研修

実践栄養学科 卒業
滝澤 あかり



私は、入学した時からこの研修に参加したいと考えていたのですが、校内で行われた説明会に参加して説明を聞くうちに、申し込みをするかためらってしまいました。なぜなら、英語も十分話せないのに、二週間ホームステイをしながら現地の学校に通う想像ができず、とても不安になったからです。しかし、こんなチャンスはもうない、と思ったので、勇気を出して申し込みました。実際に研修に参加できることが確定してからは英語研修があり、一緒に参加する仲間たちと楽しく準備できましたが、いざ出発の日が近づいてくると、不安と緊張とでよく眠れないほどでした。

現地について二日間くらいは、コミュニケーションが上手くとれず、二週間も滞在できるか心配になっていました。ところが、四日くらい経った頃から、ゆっくりですが、ホストファミリーといういろいろな話ができるようになってすごく楽しくなり、それから一瞬で終わってしまったと感じるくらい、時間が短く感じました。

日常会話では、正しい文章になっていなくても、単語でもいいので話してみるということが大切だと思いました。そして、十分に話せない分、ジェスチャーをし、笑顔でいることを心がけていました。伝えようとする意志を相手に伝えることが大切であり、自分の気持ちや意見をはっきりと伝えることの重要性を感じた二週間でした。

今回の研修では、様々な施設を訪れ、各仕事場で活躍する

栄養士からお話を聞くことができました。中でも、フードバンクを訪れたことが強く印象に残っています。フードバンクとは、食料に困っている人たちに食料を支給したりしている非営利団体です。また、オーストラリアの学校には給食という制度がないため、フードバンクが食事を提供したり、食育を行ったりしているそうです。ここでは、食料の保管庫を見学させていただいたり、食育として行っている簡単なゲームをやらせていただいたり、とても興味深かったです。このような施設があることを知らなかったため、勉強になりました。

今回の研修を通して、自分に少し自信がつき、もっと積極的にいろいろなことに挑戦していこうと考えるようになりました。このような機会を作ってくださった先生方、両親にはとても感謝しています。このオーストラリア栄養学・英語研修に参加して、本当に良かったです。



上：キングスパークを訪れた時の集合写真



右：休日にフリーマントルに連れて行ってもらった時の写真

学科主催の研修(授業)プログラム

国際食活動フィールドワーク実習

対	食文化栄養学科	費	約25万円
単	2単位	申	学科ガイダンス内で説明有り
期	1週間程度		
概	ベトナムの食文化や生活をフィールドワークを通じて体験します。		



海外スポーツ栄養体験実習

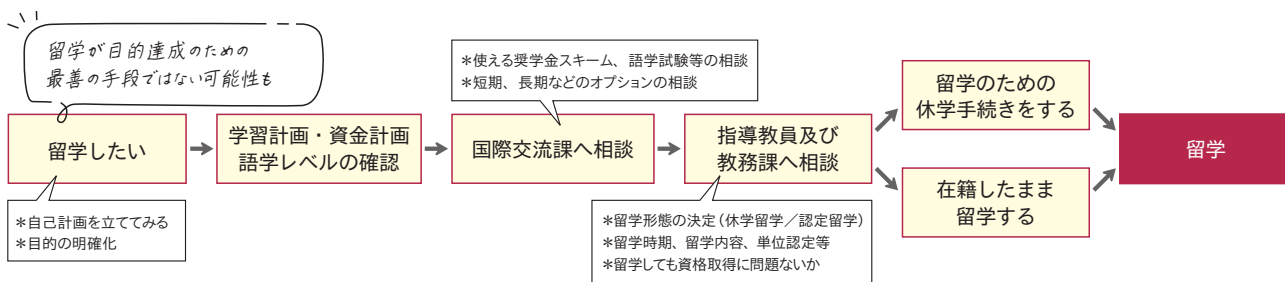
対	保健栄養学科栄養科学専攻	費	約55万円
単	2単位	申	春に履修ガイダンス有り
期	10日間程度		
概	英語力を向上させつつ、世界最先端のスポーツ栄養を体験するために、スポーツ先進国であるオーストラリアに学びます。		



留学制度

留学ロードマップ

留学したいという動機は様々ですが、留学への想いを現実のものにしていくためにまず必要なのは自己計画を立てることと、実現の可能性を検討することです。特に、本学のように管理栄養士、栄養士などの資格取得を限られた在学期間で目指す学生にとっては留学そのものが現実的であるのか、留学後の計画を事前に考えておく事も必要です。



女子栄養大学×留学

留学には大きく分けて協定留学と認定留学があります。協定留学は本学と大学間協定を結んでいる海外の大学に長期の交換留学、または短期の海外研修に行く制度であり、認定留学は学生個人が留学先の大学を選定し、出願して入学許可を取得した上で本学に海外語学研修届を提出し、留学する制度になります。

協定留学

ソウル国立大学校生活科学大学(食物・栄養学科)への交換留学プログラム

対 大学院生、栄養学部生*1 **期** 半年～1年間 **費** 学費免除(詳細はプログラムの魅力を参照)

語 TOEFL iBT 88以上、IELTS 6.0以上、又はTOPIK(韓国語能力試験) 5以上が目安*2 **GPA** 学部生 2.5 大学院生 3.0

*1: 少なくとも半年間は女子栄養大学で修学していることが前提となります。 *2: 語学レベル、GPAの目安は変更になることがあります。詳しくは国際交流課にお問い合わせ下さい。

ソウル国立大学校生活科学大学とは？

韓国の最高学府、ソウル大学の中にある学部の一つです。留学先はソウル大学の生活科学大学になります。生活科学大学の中に食物・栄養学科があり、そちらの交換留学プログラムコースに入ることになります。(大学院は自然科学専攻の中に食物・栄養プログラムがあり、そちらに入学します)大学院の場合は公衆衛生の英語授業を履修することもできます。

プログラムの魅力

プログラムの一番の魅力はソウル大学での学費が免除されることです。大学には安価な寮もありますので、寮と生活費のみで修学が可能です。また、食物・栄養学科は英語で学ぶコース(English-Taught Courses)もありますので、特に英語が得意な学生や留学生には魅力的なコースとなっています。ソウル大学で受講した講義は単位互換で女子栄養大学の単位に変換することが可能です。

スケジュール

春入学	秋入学
7月上旬：学内募集開始	1月上旬：学内募集開始
8月上旬：学内応募締切・選考	2月上旬：学内応募締切・選考
9月上旬：ソウル大学にオンライン申請	2月中旬：ソウル大学にオンライン申請
10月：ソウル大学にて選考	4月：ソウル大学にて選考
11月：結果発表	5月：結果発表
12月：入学許可手続き実施	6月：入学許可手続き実施

*単位互換の科目については、あらかじめ指導教員に確認して下さい。

認定留学

(食文化栄養学科中期海外語学研修)

認定留学とは本学に在籍しながら海外に留学することです。留学先は学生個人が選択した大学及び大学付属の語学学校となります。単位認定を受けるためには学科に申請する必要があります。詳しくは食文化栄養学科にお問い合わせ下さい。

対 食文化栄養学科に在籍する3年生等 **期** 3年生前期

費 本学の学費と留学先の学費の双方の負担が必要
*学園の奨学金の申込が可能です。
詳しくはP10をご参照下さい

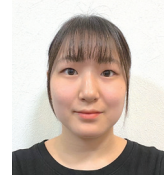
学 提携先のダブリンシティ大学付属の日本語学校等で学びます



ソウル大学交換留学日記

留学期間 2023年9月～2024年8月(予定)

栄養学部
実践栄養学科
孫 妃那



【自己紹介】9月からソウル大学での学生生活をスタートしました。ソウル大学では基礎栄養学や食生活文化及び実習、給食経営論を通じて韓国の食産業や食文化などを学んでいます。試験期間になると覚えることがとても多いので学科の友達と一緒に夜まで大学に残って勉強をしています。今日はそんな私のある1日を紹介します。

10:00

ソウル大学行きのシャトルバスが二か所から出ており、私は大学洞から大学の真ん中にある行政館に到着するバスに乗ります。その後10分くらい授業のある建物まで歩いていきます。大学が韓国国内で一位の広さを誇るほどの土地を持っているので建物が違う授業があると移動が大変です。



10:30

今日は基礎栄養学の授業に参加します。授業で先生が使うスライドはすべて英語で書いてあり、予習しながら翻訳することが必須です。もちろん試験も全て英語です。多くの授業は韓国語ですが、一部の授業に関しては学部生でも英語なので、留学するなら英語を勉強していくのが良いです。



12:00

ソウル大学内にはいくつかの食堂があり、授業する建物の近くで食べることが多いです。今日は中央図書館の近くにある学生会館食堂でカボチャカレーを食べます。このメニューはカボチャカレーで1000ウォン(110円くらい)と安く、女子学生が食べるにはちょうどいい量です。午後

の授業を受けるのに十分なエネルギーをここで補給!



14:00

午後は食生活文化及び実習の授業を受けます。この授業では食文化に関するコンテストへの参加や、食に関するフェスタ等への参加を通じて実践形式で学ぶ授業です。また、外国人クッキングクラスと言って韓国の料理を留学生に教えるという授業もあります。実践形式なので韓国の食文化はもちろん外食産業などにも触れられ、日本との違いを感じます。



18:00

ソウル大学内にある学科専用の部屋で友達とおしゃべりしながら夕方を過ごし、帰りは大学から出ているシャトルバスに乗って帰ります。



19:00

家に帰って自習をします。韓国語での授業なのでわからない単語を調べ、理解ができなかった部分を録音した授業を聞き直しながら復習します。自習が終わったあと洗濯や掃除などの家事をしていきます。

外国人留学生の声

出身国：タイ
出身地：パトゥムターニー県
調理学研究室 修士課程2年
ヤオム ペミカ



自分の出身国、都市の簡単な説明をして下さい

私はタイのパトゥムターニー県の出身です。タイは、美しい海と(もし辛い料理が好きであれば)美味しい食べ物で有名だと思います。タイの有名な観光地で皆さんが知っている場所といえばプーケットやバンコク、チェンマイだと思います。タイでは様々な景色を楽しむことができます。南部へ行けば、美しいビーチや青い透き通った海を楽しむことができます。北部に行くと、自然や山々に囲まれることでしょう。もし都市の雰囲気を味わいたいのであれば、バンコクに来て下さい。私の出身都市であるパトゥムターニーはバンコクの隣に位置する県になります。私はバンコクで生まれましたが、パトゥムターニー県に小さい頃引っ越しました。パトゥムターニーはバンコクのように大都市ではないのでそれほど混雑しておらず、けれど便利な交通機関があるとても住みやすい場所です。もし興味があるならタイにぜひ来て下さい。タイに来たらぜひタイ料理を食べてほしいです。絶対好きになると思います。

なぜ日本を留学先に選んだのですか？

高校時代から日本に留学したいという想いはありました。なぜなら、日本を訪問した経験があり食べ物、都市、言葉など日本に関するものが全て好きだったからです。だから勉強するためにここに帰って来るチャンスがあれば素敵なことだと思っていました。また、私の研究分野が食品科学であること、そして日本は多くの食に関する研究を実施し、食品パッケージのデザインでさえも、より簡単に使うためにはどのようにデザインすれば良いかということを考えるくらい食品生産に関して革新的な国であるというイメージを私が持っていたこともその理由になりました。日本にあるものは本当に魅力的で、それが私が日本に留学する動機になりました。

なぜ女子栄養大学を選んだのですか？

女子栄養大学は味の素奨学金に応募した時、学士を卒業して栄養学修士を取りたいという考えを持ち始めた時に初めて知りました。よって、まさに私がその時探していた大学を見つけた！という感じでした。女子栄養大学について調べ、自分が関心のある研究分野の研究室があることを知り、そしてまた、女子栄養大学が食と栄養専門の大学であると知り、女子栄養大学に留学することを決めました。

将来の夢について教えてください

将来的に自分の関心分野で研究を続けるために、食品研究・開発分野で働きたいと思っています。修士課程を卒業後は、タイもしくは日本で仕事を探したいと考えています。自分が情熱を持つことができ、自分に最適なベストな仕事を見つけることができれば嬉しいです。

今後留学を考える後輩に何かメッセージがあればお願いします

「自分が成し遂げたい事のために、最大限の努力をする！」
自分も今振り返ってみると、留学を決める時最初は躊躇したこともありましたが、今はこの決断が確かに正しかったと思っています。自分の‘安全ゾーン’の中でしか生きていなかった過去には決して知りえなかったたくさんの事を学ぶことができました。多くの友を持ち、そしてここで良い思い出を作ることを楽しんでいます。



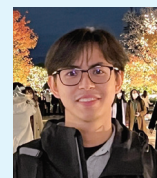


出身国：マレーシア

出身地：ペナン

栄養生理学研究室 修士課程2年

ムハンマド ウマイル



自分の出身国、都市の簡単な説明をして下さい

私は東南アジアに位置するマレーシアの出身です。マレーシアは大きく西マレーシアと東マレーシアに分かれています。マレーシアにいと、マレー族、中国系、インド系、先住民など様々な人種の異なる文化、宗教にさらされます。マレーシアでは外国人はしばしば「いったいどうやってマレーシアの人々はお互いの違いを克服しているのだろう」と驚きます。私の出身地、ペナンはマレーシア北部のとても小さな県で、マレーシアの観光地の一つです。食べ物(例えばナシカンダール、ご飯とカレーを組み合わせた物)を目当てに来る人もいます。またある人はジョージタウンや第2次世界大戦の名残などの文化遺産を訪れる目的で、別の人は美しい島々を目当てに訪問します。マレーシアに来た際は、絶対ペナンを訪れるべきです。

なぜ日本を留学先にしたのですか？

今までは自分が日本に住むことを一度も考えたことはありませんでした。ただ、マレーシア人としては、ほとんどの人がそうであるように私自身も「留学する」という夢は持っていました。なぜなら、「留学」は自分自身を「守られた心地よいゾーン」から連れ出し、自分自身を鍛え、適応力を高めるものであり、そして何より留学することでマレーシアの外でより良いチャンスを掴むための自分自身のゴールに注力することができるからです。私の場合、奨学金で留学の全費用を確保する必要があったため、奨学金が取れた場合のみ、大学院進学を目指すという条件で探しました。最初の段階では、英語圏での留学を望んでいたものの、「日本」は自分の留学先カードの中には入れていませんでした。

日本は世界のどの国からも好かれている国です。日本留学の奨学金を獲得した時、なぜ日本が他の国から好かれるのか、自分の目で確かめてみたいと思うようになりました。留学のチャンスを与えられたとき、アジアの教育機関で学び、文化や言語を学び、人々と知り合うのはどうか？と考えました。

なぜ女子栄養大学を選んだのですか？

私は食品栄養関連分野を専攻したかったので、食品栄養にフォーカスしている日本の大学にとても興味を持ちました。女子栄養大学は栄養学に特化した大学ですので、教育研究に携わる先生方は皆、その分野の専門家です。自分たちのような学生にとってたくさんの著名な専門家が一堂に

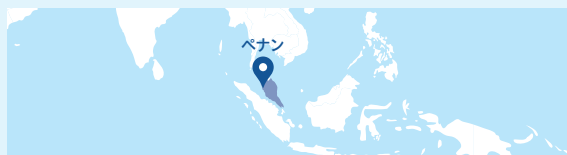
集まる場所で学べることは、良い機会です。また、女子栄養大学側の担当者の返答はとても早く、それが自分が女子栄養大学に来た最も大きな理由だとも言えます。私は栄養生理学研究室に配属され、上西教授の指導を受けることになりました。研究室の友人はとても前向きで、勤勉、そして親切です。例え、日本語が分からなくても、また私が変な日本語で話をしたとしても、彼らは忍耐強く理解し、問題が解決するよう助けようとしてくれます。私は上西教授をはじめ、研究室のメンバーと研究室にいる学部生にも、私を快く迎え入れてくれたことにとても感謝しています。

将来の夢について教えてください

奨学金がもらえるのであれば、博士後期課程に進学したいと思っています。インパクトがあり、意味のある研究テーマで研究できればと思います。また、母国であれ、日本であれ、他の国であれ、業界をリードする人材になるために、自分の知識をさらに高め、研ぎ澄ますために、専門的な仕事をしたり、自分の会社を設立したりすることも考えています。

今後留学を考える後輩に何かメッセージがあればお願いします

チャンスが来た時、それにチャレンジし、自分で掴み取ることはとても重要です。その先には多くのそれを越えるチャンスがあります。勇気を持って最初の一步を踏み出し、新しいことを学ぶためにオープンになってください。



海外留学のための奨学金制度

留学するためには資金的な準備も必要になります。国際交流課では、留学のための給付型の奨学金情報の提供も行っています。応募可能な奨学金は、6号館1階国際交流課前の掲示板及び4号館3階の掲示板に張り出されます。

給付型奨学金の一例

奨学金名	申請レベル／対象国	給付内容
ロータリー財団グローバル補助金	大学院（修士／博士）	\$15,800～\$30,000
日本学生支援機構海外留学支援制度	大学／大学院（修士）	授業料250万円及び生活費
一般財団法人重田教育財団	大学／大学院（修士）	月額20万円
埼玉発世界行き奨学金	大学／大学院（修士）	100万円
埼玉県姉妹友好州省奨学生派遣事業	米国、中国、オーストラリア等	授業料免除（場合により住居費免除）

荒井慶子グローバル人材育成奨学金

本学の卒業生であり教壇にもお立ちくださった荒井慶子先生からのご寄付で設立された給付奨学金制度です。将来グローバルに活躍することを目標に海外留学を希望する学生・生徒の中から選考の上、給付します。詳しくは毎年9月に国際交流Instagramでお知らせしますので、そちらをご確認下さい。

対象	大学院生、大学生、短期大学部生、専門学校生		
種別	給付	金額	年間200万円を上限（対象者総額）
人数	5名以内	申込時期	11月

*上記の内容はガイドラインの改定により変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。

その他のお知らせ

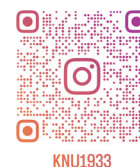
カフェ・グローバル(留学生おしゃべり会)

国際交流センターでは、オンラインで留学生と気軽にお話するカフェ・グローバルを定期的に開催しています。英語でおしゃべりしたい方、海外のことが知りたい方はぜひ気軽にご参加下さい。右のQRコードより参加登録をすることができます。英語が話せない学生も大歓迎なのでぜひ登録下さい！



国際交流Instagram／Instagram

学園・国際交流に関するニュースを簡単な英語でタイムリーに発信しています。海外研修の最新の情報、国際交流関係の学内イベントは、まず最初にこちらのInstagramで情報発信します。国際交流に関心のある学生は右のQRコードを読み込み、フォローをお願いします。



国際交流チャット相談

本学でのタブレットやオンライン授業等の導入によるITCの推進の一環として、国際交流課では学生・生徒へのオンラインチャット相談を開始しました。Microsoft Teamsのチャットで気軽に留学や海外渡航届等の相談を頂くことが可能です。チャット相談をご希望の学生は初回のみ国際交流課(knuintlo@eiyo.ac.jp)までメールをして下さい。こちらからチャットで返信いたします。

留学(研修プログラムを含む)における安全管理

留学生の心得・誓約書

本学が実施する留学プログラム（研修プログラムを含む）に参加する場合、「学生・生徒本人の自発的選択と責任において行われるべきものである」という趣旨を了解してもらう必要があります。参加学生・生徒は主体的に自己管理を行うとともに、渡航準備から帰国までを含む留学中の一切の行動を、参加学生・生徒自身の責任においてすすめることが求められます。以下の注意事項をよく読み、事前に十分理解した上、必要な手続きを進めて下さい。

注意事項

- ・ 本学主催の留学プログラム(研修プログラム)に参加する学生・生徒は全て誓約書の提出が必要です。
- ・ 渡航先において学生・生徒が病気や怪我を負い意思決定できない場合、引率教職員に治療行為の意思決定を委任するための委任状の提出が必要です。
- ・ 研修プログラムにおいては事前、事後研修を実施しており、参加する学生は8割以上の出席が義務付けられています。事前研修に参加しない学生・生徒は渡航をお断りすることもありますので、注意が必要です。
- ・ 事前研修の中で危機管理研修を行います。文部科学省が各大学に出している渡航先での注意事項など重要な連絡事項を含みますので、必ず受けるようにして下さい。
- ・ 研修プログラムに参加する学生・生徒は必ず本学指定の海外旅行保険に加入する必要があります。
- ・ 留学プログラムに参加する学生・生徒は全て旅レジへの登録が必要です。短期研修プログラム参加の学生は国際交流課でまとめて登録を行います。認定留学、交換留学をする学生・生徒は個人での登録となっていますので、必ず渡航前に登録するようお願いいたします。不明点は国際交流課にお問合せ下さい。
- ・ 自然災害、テロ、感染症の蔓延等、不可抗力により研修が中止になることがありますので予めご了承、中止の際には学園の指示に従って頂くようお願いいたします。

誓約書について

上記のとおり、本学が実施する留学制度では参加学生・生徒の主体的な行動を促し、責任を明確にすることを目的として、参加学生・生徒に対し「誓約書」の提出を義務付けています。「誓約書」は保護者(保証人)の直筆のサインと捺印が必要になります。本学が実施する留学プログラムに参加する際は例えその費用を自分自身の預貯金等で賄う予定であったとしても保護者の同意を得ない参加は認められません。応募に先立ち、自分が参加する留学制度を自分自身で保護者に説明し、参加の同意を必ず得て下さい。

予防接種

海外では日本で実施されている予防接種や感染症対策だけでは不十分とする国・地域があります。自分で渡航する国に必要とされる予防接種を調べ、必要な場合には必ず受けてから渡航するようにして下さい。本学では新型コロナウイルスを含め全ての予防接種は学生・生徒の判断で行っていただいています。分からない事があれば大学の保健センターにご相談下さい。

女子栄養大学保健センター

坂戸キャンパス12号館3F 049-282-3247

駒込キャンパス2号館2F 03-3576-3221



Q 留学すると留年してしまいますか？

A 認定留学や研修プログラムでは本学に在籍したままの渡航となりますので、卒業時期が延びる事はありません。一方、休学をして留学する場合は卒業が延期します。留学を考えている場合は早いうちに教員、教務課に相談するようにして下さい。

Q 語学力はどう伸ばせば良いですか？

A 語学力を伸ばす前に、自分の現在の語学レベルを知ることが必要です。語学力にあまり自信のない人は英検やTOEICで自分の現在の語学レベルをチェックしてみましょう。その上で自分の苦手部分(語彙力、読解力、リスニング力、文法、作文力)を特定し、ワンランク上を目指すように勉強していくと良いでしょう。

Q 留学や海外研修に参加した場合、単位認定されますか？

A 認定留学や短期の研修プログラムでは留学や研修修了後2単位の単位認定を受けることが可能なものもあります。単位認定されるには事前研修の参加やレポートの提出など様々な条件があり、それを全て満たす必要があります。自分が参加するプログラムの単位認定にどのような条件があるのか、事前に教務課に確認をするようにして下さい。

Q 留学や海外研修にはどのくらい費用がかかりますか？

A 海外研修のおおよその料金はP4に掲載しています。為替レートや参加人数によっても費用は異なってきますので、毎年開催される募集説明会に参加して料金を確認するようにして下さい。留学は私費留学であれば1年間で100万～150万円以上かかる場合もあります(留学する国により大きく異なります)。国や自治体、民間の留学を支援する様々な奨学金制度がありますので、有効に活用するようにしましょう。

Q 韓国語がしゃべれませんが、交換留学制度に応募できますか？

A 協定校であるソウル国立大学校生活科大学の交換留学制度では、留学生用のプログラムで全ての授業を英語で行い単位を取得することが可能になっています。ただし、英語の場合はTOEFL iBT88以上、IELTS 6.0以上の語学力が必要になります。韓国語で学習する場合もTOPIKレベル5以上が必要になりますので、希望する学生は事前に必ず語学試験を受けるよう、お願いします。(詳しくはP7をご確認下さい)

語学試験

以下が主な英語試験の概要です。試験日程などWebで調べてみましょう。

	内容	検定料
英語検定	筆記、面接により構成。級によっても異なるが、筆記は語彙力、読解、リスニング、作文力を問われる。	7,900円～9,800円程度 (級により異なる)
TOEIC	読む、聞くが中心のテストと話す、書くが中心のテストの2つに分かれる。	7,810円
TOEFL iBT	読む、聞く、話す、書くを総合的に判定、全体で4.5時間の試験内容。インターネット版の試験も有り。	\$245
IELTS	聞く、読む、書く、話すの4つのテストで構成されており、試験時間は2時間45分。	25,380円

* \$は米ドル。検定料は変更になる場合があります。

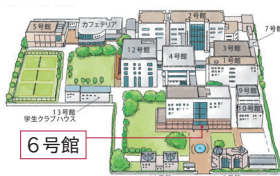


学校法人 香川栄養学園

国際交流課 International Office

坂戸キャンパス

住所：〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21
電話番号：049-284-6245
場所：6号館1階
メールアドレス：knuintl@eiyo.ac.jp



駒込キャンパス

住所：〒170-8481
東京都豊島区駒込3-24-3
電話番号：03-3915-3569
場所：3号館3階

